

2024年パリ五輪の代表を選考するマラソングランドチャンピオンシップ(MGC)ファイナルチャレンジのひとつとして開催された今大会は、気温9.3度、北西の風1.3メートルの条件下、招待選手9人、ネクストヒロイン選手4人、ペースメーカー7人を含む370人がスタートラインに立った。



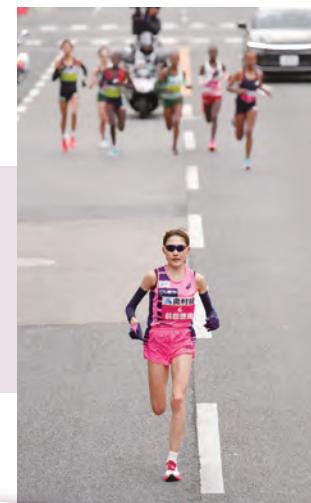
ウォルケネシュ・エデサ(エチオピア)

ウォルケネシュ・エデサ(エチオピア)が大会新記録となる2時間18分51秒で優勝。一時、前田の背中を追う展開になるも、31キロ過ぎに再び先頭に立つと、終盤の猛追を振り切りフィニッシュテープを切った。

レースは、当時女子マラソン日本人歴代2位の記録(2時間19分24秒)を持つ新谷仁美(積水化学)ら7人がペースメーカーとして先導。前田穂南(天満屋)、松田瑞生(ダイハツ)、佐藤早也伽(積水化学)、そして海外からの招待選手2人を加えた計5人が先頭集団を形成し、中間地点を1時間9分46秒で通過した。21キロ過ぎで前田がペースメーカーを追い抜いてレースを動かすと、先頭集団全体のペースが加速。22キロ過ぎから過去3度の優勝を誇る松田が徐々に引き離された。



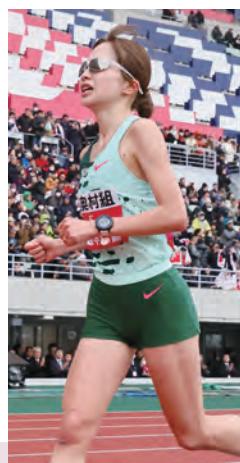
前田穂南(天満屋)



前田は2位でフィニッシュ。後半に向けて徐々にペースを上げ、2005年に野口みづきがベルリンマラソンでマークした日本記録を19年ぶりに13秒更新する2時間18分59秒を記録した。



松田瑞生(ダイハツ)



佐藤早也伽(積水化学)



小林香菜(前橋市陸協)

粘りの走りを見せた松田は2時間23分7秒で3位。佐藤は終盤に失速し2時間24分43秒で5位に終わった。ネクストヒロインとして出場した小林香菜(前橋市陸協)は、自己記録を7分10秒更新する2時間29分44秒で12位に入った。

第43回大会 2024.1.28

■参加者:363人／日本人357人、外国人6人 完走322人
■気温:9.3度(スタート時) 湿度50%(スタート時)

順位	氏名	年齢	国名(所属)	タイム
1	エデサ	31	エチオピア	2:18:51
2	前田 穂南	27	天満屋	2:18:59
3	松田 瑞生	28	ダイハツ	2:23:07
4	チェサン	27	ウガンダ	2:23:36
5	佐藤 早也伽	29	積水化学	2:24:43
6	スタインラック	34	ドイツ	2:24:56
7	松下 菜摘	29	天満屋	2:25:10
8	大東 優奈	26	天満屋	2:25:16